

額ニ積テ實檢ニ及ベリ、神祖○德川家康功勞ヲ賞給ヒテ、其狀ヲ家紋ニセヨト命ゼラル、ヨリ、コノ如シト云ヘリ、

〔諸家系圖纂二十四〕越智稻葉系圖

新居○玉澄、姓改橋、二三代過、兄弟別而稱高市、○中後醍醐天皇、臨幸山門時、引率八十三騎馳參、此

時賜三十八紋、井門一族是也、

〔寛永諸家系圖傳 二百二十三〕都筑

家紋、卍字、

〔寛永諸家系圖傳 二百五十二〕細田

家紋、藤丸のうちに卍、

〔寛永系圖 十四〕藤原 大久保

家紋、左巴、添紋鳥居、稱大久保、後改上藤丸内大文字、

〔寛永諸家系圖傳 五十四〕中川

家紋、藤丸内大文字、

〔安齋隨筆 後編 五〕一梶原氏家紋 源平盛衰記卷三十五義經院參の條に云、大文字三箇書たる直

垂に黒系威鎧は、同國住人梶原平藏景時子息景季生年二十三と名乗る、土佐國主山内氏家臣

大庭源之助と云者、家に古き幕あり、先祖の幕なりと云傳ふ、其幕の紋、大ノ字ノ下に二ノ字を小

ク書たり、太如此の紋なり、梶原と大庭とは同家なり、故に名乗に兩家共に景ノ字を付なり、ゆゑ

に幕ノ紋に太を付るなるべし、彼源之助家は庶流なる故、焱を用ずして焱の代に、大ノ下傍ニ二

ノ字を用るなるべし、二ノ字を大キにして大二、如此しては二箇引兩に似たれば、太如此したる

歟、